

執筆：SecurityScorecard 中村 悠

編集：SecurityScorecard 橋本 詩保

## 取引先企業のリスク管理における3つの課題およびその解決方法

2013年12月にアメリカ小売業大手のTarget社において、大規模なセキュリティインシデントが発生し、以降、取引先企業のサイバーセキュリティ対策の重要性が見直され、CISO、セキュリティ部門、リスク管理部門の最優先事項の一つになりました。

年々、組織や企業が直接的あるいは間接的に取引を行う関連企業が増えています。それと並行して、攻撃者がより大規模な組織に侵入する足掛かりとして、まずは、その取引先企業に侵入するという手法が増加し、企業のサプライチェーンにこれまでにないほどの影響を与えるようになりました。

このような状況においては、企業は『TPRM (Third Party Risk Management)』（取引先企業のリスク管理）の理解、実装/実践なくしては、セキュリティリスクを排除し、脆弱な状態から抜け出せません。

一方で、現在企業で実装されているTPRMプログラムは、取引先企業が抱えるセキュリティリスクの観点で語らずに、自社のコンプライアンスのみに焦点が当たっていることが散見されます。この観点もとても重要ですが、取引先企業がもたらすリスクを管理するという観点では不十分です。本当のリスクを測定するため、また、TPRMプログラムの観点を変えるためには、取引先企業の管理方法を見直す必要があります。

TPRMプログラムを強化するために必要な、TPRMの3つの課題と、ユーザーと組織が実行できるアクションを次に示します。

### 1. TPRM プロセスを自動化し、管理できない取引先企業のリスクを減らす

続きを見たい場合は

メーカーBlog^

[HTTPS://SECURITYSCORECARD.COM/TPRM-CHALLENGES-SOLUTIONS-JP](https://securityscorecard.com/tprm-challenges-solutions-jp)

